

昭和34年の伊勢湾台風で、名古屋市南部を中心に30万人を超える被害者がでました。その中から診療所づくりがはじまり、2年後、308人の出資金の持ち寄りで、南医療生協が誕生しました。現在の組合員は8万人。組合員が『おたがいさまのまちづくり』をすすめる87地区に支部があります。また、暮らしに必要な63事業所を運営しています。

ひとひとの思いが花ひらく おたがいさま のまちづくり

を実践されています。その南医療生活協同組合に、視察研修に行ってまいりました。



まずは病院で、『よういりゃあしたなも』とてなされまして、南医療生協の歴史や、活動についてのお話を聞き、施設内を一通り歩きました。病院内には入っていないのですが、どなたでもくつろげるスペースや、喫茶コーナー、図書コーナー、フィットネスクラブなどもそろっています。



次に病院の隣にある『よってって横丁』へ。

JR南大高駅の前に位置する
便利な立地。
高齢者向け住宅やグループホーム。歯科メンタルクリニック



訪問看護ステーションの他、イタリア料理店や健康にこだわった発酵料理店なども。

交流スペースでは『わたしが値段を決める美術展』が実施されていた。他にも、昭和の物を展示しているスペースや、高校生や大学生が学習する自習室も。



そのあと、昼食を星崎ブロックにある空き家をリフォームした『イエローハウスだんらん』で、特製カレーをいただいた。地域の人々が集まって様々な活動をしているサロンのような場所だ。



最後に訪問したのは、グループホーム『なも』。高齢者が暮らす所。ここも空き家を活用して生協で運営している。多くの孤独だった高齢者が、ここでは、和気あいあいと暮らしている。ここから、旅立つ方も。



地域・組合員数・予算などいずれも規模が大きく、私たちの地域にすぐに取り入れるようなことは難しいですが、空き家を活用した憩いの場づくりや、高齢者と子供たちの交流できる場づくりなど、今後橋北地区でも取り組んでいきたい、様々なアイデアをいただきました。